



## NO.103

前回の発行から長期間に渡り空白が生じてしまいましたことをお詫び致します。言い訳がましくなってしまう恐縮ですが、9月以降海外大学進学を目指す高校3年生の生徒諸君の出願支援で忙殺されており、グローバル通信の新規発行までなかなか手が回らずにありました。海外大の早期出願がようやく一段落した所で、気持ちも新たに生徒諸君に役立ちそうな情報提供を心掛けてまいります。まずは前号で掲載できていなかった模擬国連受賞報告の続報からです。

### 第5回全国高校教育模擬国連大会（AJEMUN）参加報告 その2

8月7日（土）～8日（日）に上記大会がオンラインで開催されました。今年は「児童労働」というテーマで全国から600名を越える高校生が経験者対象の3議場、初心者対象の4議場に別れて議論を交わしました。本校からは経験者議場にエントリーした3ペアが各議場で見事最優秀賞を獲得しました。

高校1年2組 土屋 哲史・高校2年1組 島村 昂寿

今回、全国高校教育模擬国連大会に出場させていただきました高校一年の土屋です。まずは今回、出場に協力していただいた顧問の先生方、ペアとして支えていただいた島村先輩に感謝したいと思います。

模擬国連はその名の通り、国連を模擬し学生が各国の大使として実際にある国際問題にとりくんでいくという活動です。今回は昨今のコロナ禍の影響で会議はオンライン上で開催されました。オンラインではありましたが自分自身、高校生となり今回初めて全国規模の大会に参加でき嬉しく思います。

本会議で私たちはイエメン大使として児童労働の問題に取り組みました。実はこの児童労働が一つのテーマとして扱われるのは珍しく、通常は児童の権利などに付随する問題として議論されることが多いです。実際、このテーマについて調べていく中でもなかなか児童労働だけを扱っているような資料が少なく、通常の会議よりリサーチが難しく感じました。

児童労働は貧困や社会における児童の権利への認識など複数の要因が絡み、さらにその要因一つをとっても取り組むのが難しいものになっています。日本にいと、この貧困や社会の認識が違うことが分かりづらいかもしれませんが世界では億や何千万という単位で児童労働が行われています。

今回の会議はそんな現状をどう打破していくかというのが重要になってくるのですが、会議では単に貧困をお金で解決する、法整備をするという一般的なアプローチだけでなく、児童労働にかかわる社会の人権意識や児童労働が必要になってしまうような需要をつぶすためのサプライチェーンといった考え方や新しいアプローチが出されました。会議の中でこのような多様なアプローチをいかにまとめ、各国の利害を一致させていくのかというのは非常に大変な作業でした。

結果的には最優秀賞をいただきましたが会議全体の動向や時間を意識して議場を掌握するということができなかった点は今後の改善点としていきたいです。

毎回、模擬国連に参加すると自分がニュースで見たことがあるような問題であっても知らないアプローチや考え方、そうなった背景を知ることができ多くの学びを得られます。

今回の会議での自身の行動や体験を今後の模擬国連や社会で活かせるように頑張っていきたいです。



B 議場最優秀賞  
イエメン大使

左 土屋君  
右 島村君

## 自動運転に関する1日完結ワークショップのご案内（中1～高2対象 有料）

本校卒業生が関係する団体よりプログラミングと自動運転に関するワークショップを期末考査が終わった後の採点期間を利用して校内で開催していただけることとなりました。専門的な予備知識は必要ありませんので、興味のある生徒諸君はぜひ申し込んで下さい。

### 初心者歓迎！自動運転技術や画像処理技術に触れよう！

1日完結 INSTANT TECH（運営団体: ICHINOYA LLC）

#### 【INSTANT TECHとは】

##### ◆ プログラム内容

コマ	概要	詳細
1	自動運転の実用化【講義】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 少子高齢化や人工知能技術の背景</li> <li>● 自動運転が注目されている理由を理解</li> </ul>
2	画像認識の基礎【体験】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「画像認識」を実際に体験</li> </ul>
3	自動運転を構成する技術【講義】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 画像認識以外の自動運転の技術を学習</li> <li>● 自動運転の全体像を把握</li> </ul>
4	小型自動運転車の走行デモ【体験】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実際に小型車のデモ走行の様子を見学</li> </ul>

◆ 体験できること:

- ① Python を利用した画像認識プログラム利用
- ② 小型自動運転車の走行見学

【募集要項】

- ◆ 対象: 中学 1 年生～高校 2 年生
- ◆ 予備知識: 必要なし

【INSTANT TECH開催日】

◆ 日程:

- ① 12月15日(水): 中学生対象
  - ◇ 8:35～9:20
  - ◇ 9:30～10:15
  - ◇ 10:25～11:10
  - ◇ 11:20～12:05
  
- ② 12月16日(木): 高校生対象
  - ◇ 8:35～9:20
  - ◇ 9:30～10:15
  - ◇ 10:25～11:10
  - ◇ 11:20～12:05

※両日とも講座内容は同じです。

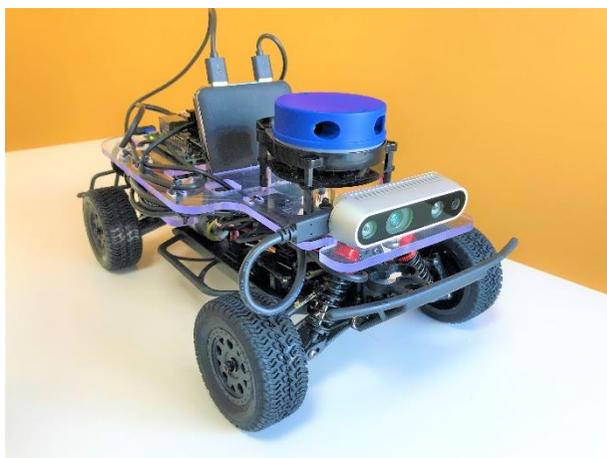
場所: 両日とも合同23W 教室  
(2号館3階)

\* 当日は学校で通常使用している Mac Book Air 又は iPad を必ず持参して下さい。

\* ワークショップ終了後は昼食を取らずにすぐに下校して下さい。



他校での実施風景



当日使用予定の小型車

## 校内での申し込みについて

- 希望者はA4用紙に学年・クラス・番号・氏名・メールアドレス及び簡単に受講動機を書いて12月1日(水) 昼休み終了までにグローバル教育部まで提出して下さい。書式は特にありません。手書き・PCどちらでも結構です。
- 部活動をしている生徒諸君は当日の活動の有無を事前に確認した上で申し込んで下さい。
- 両日とも上限の参加人数は30名となります。上限を超えた場合には抽選で参加者を決定します。
- 参加費用は参加人数によって変わります。団体からの請求額は2日間で33,000円(税込み)×2日分となります。中学生・高校生それぞれの参加人数に応じてご負担いただきます。仮に30名の参加者があった場合には一人1,100円、10名の場合は3,300円となります。集金方法については後日ご案内致します。
- キャンセルポリシー  
当日自己都合で参加を取りやめた場合には参加費用をご負担いただきますので御了承のほどよろしくお願い致します。

